

平成元年度通常総会開かる

平成元年度通常総会は、去る4月28日に開催され、名誉会員の推薦、OR学会賞の授与、新フェローの紹介が行なわれました。

以下に総会の議事録と事業報告、収支計算報告、事業計画、予算をお知らせします。

平成元年度通常総会議事録

1. 日時 平成元年4月28日(金) 15:00～17:00
2. 場所 学士会分館 文京区本郷7-3-1
3. 出席者 森村英典他876名(委任状による出席者を含む)ただし会員総数2,362名(1/3は788名)
上記のとおり出席者が定款第31条に定める定足数に達したので、定款第28条により森村会長が議長となり、議事録署名人に腰塚武志、伏見正則の両氏を選出して議事に入った。

第1号議案 昭和63年度事業報告の件

森清理事より別紙昭和63年度事業報告書にもとづき説明があり、承認された。

第2号議案 昭和63年度収支計算報告および監査報告の件

平本理事より別紙昭和63年度収支計算報告書にもとづき説明があり、この報告に関し嶋田監事より監査報告がなされ承認された。

第3号議案 平成元年度事業計画の件

腰塚理事より別紙平成元年度事業計画について説明があり、原案どおり承認された。

第4号議案 平成元年度予算の件

平本理事より別紙平成元年度予算書について説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 平成元年度・2年度役員選任の件

定款第15条にしたがい平成元年度・2年度役員候補者並びに継続役員が別紙のとおり発表され、満場一致で選任された。

第6号議案 名誉会員推薦の件

議長より理事会は定款第6条にしたがい名誉会員として吉山博吉氏を推薦する旨諮ったところ異議なく満場一致で承認された。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

平成元年4月28日

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
平成元年度通常総会

議長 会長 森村 英典
議事録署名人 腰塚 武志
" 伏見 正則

総会に引き続き、以下の行事が実施された。

1. 学会賞の授与

矢島表彰委員長、伏見表彰委員および原野表彰委員より各賞の選考経過の説明があり、会長より賞状・賞牌が下記のとおり授与された。

第17回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
該当者なし

第14回日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
梅沢 豊
斉藤 嘉博

第9回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

駒井 研二・坂口 敏明
福村 聡・佐能 克明・山川 栄樹

第4回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞ソフトウェア部門賞
椎塚 久雄

2. 新フェローの紹介

新フェローとして池浦孝雄・石川 馨・高橋幸雄・戸田一夫・刀根 薫・水野幸男・森 雅夫の各氏が紹介され、会長よりフェロー記が贈呈された。

昭和63年度事業報告

I 事業の概要

1. 研究発表会

(1) 4月6日、7日の両日、金沢女子大学において、第63回研究発表会を開催した。

・特別テーマ「地方の時代とOR」

・特別講演

- 1) 雪つりと景観 小堀為雄 (金沢大学)
- 2) 石川のリゾート構想 山岸正美 (石川県)
- 3) 地方の時代とOR 小笠原暁 (芦屋大学)

・発表件数 101件

特別テーマ 6件

一般発表 91件 (内部会報告2件)

ペーパーフェア 4件 (内部会報告4件)

・参加者数 251名

また、8日には金沢工業大学ライブラリー・センター他を見学した。

(2) 9月28日、29日の両日、上智大学において、第64回研究発表会を開催した。今回は、日本経営工学会とで開催する初めての試みの合同研究発表会であった。

・特別講演

1) OR・JIMA合同開催記念特別講演

秋庭雅夫 (日本経営工学会会長)

2) OR・JIMA合同開催記念特別講演

森村英典 (日本オペレーションズ

・招待発表

1) 線形計画法の新解法について

今井 浩 (九州大学)

2) 均衡点に続く道 山本芳嗣 (筑波大学)

3) 最適板取り自動計算システムの開発

澤田晃二 (日産自動車㈱)

4) 離散系シミュレーションのモデル化戦略

森戸 晋 (早稲田大学)

中野一夫 (㈱構造計画研究所)

・発表件数 93件

一般発表 88件 (内部会報告1件, インターナショナルセッション1件)

ペーパーフェア 5件 (内部会報告4件)

・参加者数 326名

また、30日には東芝青梅工場、日通東京中央ターミナル他を見学した。

2. シンポジウム

(1) 4月8日、金沢工業大学において、第19回シンポジウム「ORの戦略的利用」を開催した。参加者は47名であった。

(2) 2月16日日本アイ・ビー・エム㈱において、第20回シンポジウム「投資・金融とOR」を開催した。参加者数は112名であった。

(3) 11月28日、29日の両日、学習院大学において、国際経済経営会議 (ICEM)「経済のソフト化を考える」を国際経済経営会議機構、余暇開発センター等とともに開催した。参加者は約800名であった。

3. 研究部会

研究部会・研究グループ終了・中間報告

◎印 終了を示す *印 研究グループを示す ☆印 常設部会を示す

部会名	主幹 査事	メンバー	開催	内 容	場 所
☆待ち行列	牧 野 都 治 (東京理科大学) 宮 沢 政 清 (東京理科大学)	38名	10回	毎月1回研究会を開いている。毎回2～3名のスピーカーを中心に理論的な検討と現実システムから抽出されたモデルの検討を並行して扱い、理論家と実務家が討論を行なっている。最近の傾向としてはタンデム網型の待ち行列系の解析等が目立ってきた。	東京工業大学
☆数理計画	古 林 隆 (法政大学) 土 谷 隆 (統計数理研究所)	20名	5回	数理計画の理論および応用に関する最新の成果の発表・討論を行なった。特に、応用面では、農業モデル、通信ネットワーク、議員定数配分方法など、広い分野から話題が提供されて、会員間の意見の交換も盛んに行なわれた。	統計数理研究所

部 会 名	主 幹 査 事	メン バー	開催	内 容	場 所
☆OR/MS とシステム・ マネジメント	太 田 敏 澄 (豊橋技術科学大学) 加 藤 敏 雄 (日本アイ・ピー・エム㈱)	40名	11回	OR/MSの実施という視点にもとづいて、 情報技術の多面的な活用による付加価値の高 い情報生産形態を、組織において実現するた めの方法論として、組織知能工学の開発をめ ざして研究・討論を行なった。	東京工業大学
◎動的計画法	小 田 中 敏 男 (東京都立科学技術大学) 蔵 野 正 美 (千葉大学)	8名	9回	月例研究会の他に、12月に八王子セミナーハ ウスで恒例のシンポジウムを開催した。動的 計画法とその応用に関する発表・議論が行な われた。	日本科学技術連 盟
◎最適化とそ の応用	児 玉 正 憲 (九州大学) 時 永 祥 三 (九州大学)	18名	8回	経済学、経営学、商学、工学、理学などの幅 広い分野から、数理計画法や動的計画法など の基礎理論待ち行列や最適化理論、最適制御 問題のOR的解明、確率モデル、経済におけ る不確実性の理論的解明、OAやLANなど の分野へのシミュレーションの応用などの発 表があった。	九州大学
政策問題	荻 野 正 浩 (㈱電脳総合サービス) 片 山 隆 仁 (防衛庁)	28名	11回	政策科学理論および手法の普及研究を図って いる。また、その実践的応用編として「日本 はどうなる—今何をすべきか」というテーマ で、日本の長期的針路と諸課題解決の道を模 索すべく相互研鑽中である。	三菱総合研究所
対話型OR	権 藤 元 (近畿大学) 尾 崎 正 亮 (中国電力㈱)	24名	13回	「モデルとの対話OR」を中心として、最近 のOAの環境のもとでORワークの姿はどう なるか研究している。まず、スプレッドシー トの上でORの各種の手法が使用できること を確かめた。その結果簡単なものは実用にな り、複雑なものは手法の教育・理解に役立つ ことがわかった。次にモデルの成長発展の過 程を明らかにすることに挑戦を始めたところ である。	中国電力㈱
交通・流通シ ステム	忍 田 和 良 (日通総合研究所) 稲 場 日 出 男 (工学院大学)	30名	11回	人、物のフローを中心としたシステムの現況、 課題、方策等について研究を進めた。交通分 野としては、運行システム、環境課題、流通 分野としては、行政、高速道ネットワーク形 成等を対象とした。	東洋経済新報社
最適化とその 周辺	茨 木 俊 秀 (京都大学) 福 島 雅 夫 (京都大学)	23名	8回	これまで関西地区では「数理計画法」「システ ム最適化」の各研究部会活動を行なってきた が、本研究部会はこれらの実績をふまえ、数理 計画法の理論と応用、意思決定手法等に加え て人工知能、知識工学等の分野も含む幅広い 分野について研究、情報交換を行なっている。	京大会場
意思決定	真 鍋 龍 太 郎 (文教大学) 大 屋 隆 生 (電力中央研究所)	42名	7回	AHPを中心に、意思決定の方法論と実際につ いて研究することを目的としている。毎月 1回程度研究会を開催して、理論・事例研究 の発表、文献紹介をしており、活発な意見交 換がある。部会として共通のテーマを研究す ることも考えている。	住商コンピュ ーターサービス㈱

部 会 名	主 幹 査 事	メン バー	開催	内 容	場 所
確率モデルと その周辺	大 野 勝 久 (名古屋工業大学) 馬 場 裕 (中部大学)	13名	6 回	主に、マルコフ連鎖、待ち行列、信頼性等を中心とした確率的手法についての理論的な解析や現実のモデルへの応用等を研究している。特に本年度は応用分野の拡大をめざして外国の研究者やOR学会以外の研究者にも発表していただいた。	名古屋工業大学
システム・シ ミュレーショ ン	森 戸 晋 (早稲田大学) 中 野 一 夫 (構造計画研究所)	13名	6 回	離散型を中心とするシミュレーションに関して、理論・応用・ソフトウェアの各側面から報告者の発表を軸に討論を行なうと同時に、情報の交換を行なった。理論面では、シミュレーションにより最適化・モデル化・統計的側面、応用では、製造・通信等における利用を扱ってきた。	㈱構造計画研究 所
システム・ダ イナミックス	亀 山 三 郎 (中央大学) 内 野 明 (横浜商科大学)	20名	10回	システム・ダイナミックス・ナショナル・モデルの開発を主テーマに、第1年度はMITのSDグループによるナショナル・モデルの研究をフォローする作業にあて、同グループによるディスカッションペーパーの検討を行なった。第2年度は、わが国ナショナル・モデルの開発作業に着手する予定である。	明治大学
情報ネットワ ーク	勅使河原 可海 (日本電気㈱) 木 嶋 恭 一 (東京工業大学)	15名	12回	情報ネットワークが産業・社会のマネジメントにおよぼす影響や、情報ネットワークをマネジメントの道具として利用するための技術などについて、社会文化論から技術論まで広い立場から考察する。	東京工業大学
投資と金融の OR	今 野 浩 (東京工業大学) 禰 道 守 (日本経済新聞社)	126名	11回	金融・投資はOR諸手法の新たな応用分野として、きわめて大きな可能性をもっている。この部会はORや金融・投資理論の専門家と実務家との情報交換を通じてORの新たな発展をめざしている。	東京工業大学
*◎決定理論 とその応用	坂 口 実 (大阪大学) 中 井 暉 久 (大阪大学)	22名	6 回	逐次決定解析、ゲームの理論、各種の数理計画法等の手法を多くの決定モデルに適用した研究を行なった。毎回2名の発表者によるオリジナル研究論文の発表や文献紹介を行ない活発な討論の中で理解を深めた。	日本電気倶楽部
*◎トップ業 務の創造的エ キスパートシ ステム設計	三重野 博 司 (東京理科大学) 藪 内 稔 (学習院大学)	6名	6 回	本年度は情報処理技術者の適性問題をテーマとしてとりあげた。具体的には、(1)人材確保のルートとその選抜方法、(2)適性検査実施の実態、(3)情報処理技術者に要求される資質とその改善可能性について調査・検討した。	情報処理開発協 会
*経営・管理 システム	上 田 亀 之 助 (上田イノベーション 研究所) 樋 爪 徹 (山之内製薬㈱)	17名	12回	経営管理の原理・原則は古今変化しないものであるが、現実には人間行動によって行なわれるものであるから、経営管理システムはその対象を取り巻く環境に左右される。従って現実に即して議論することが重要であり、実務体験者の発表・討論を中心として進めた。	勤労福祉会館
*社会分析	小 島 光 造 (佐々木彬夫事務所) 兩 宮 幸 雄 (東京計算サービス)	19名	5 回	米国、英国、西独あるいは江戸と東京を社会システムの見地からとりあげ、実証分析的、時系列的、帰納法的アプローチにより研究を行なっている。社会ゲームの体系、知識ゲームの理論をまとめる予定である。	勤労福祉会館

4. 普及活動

(1) 定例講演会

開催年月	テ マ	講 師	参加人数	開催地区
63年6月	組織知能のすすめ	松田武彦	80名	中国四国
" 9月	さあスプレッドシートでORを始めよう	権藤元	19名	九州
" 11月	意思決定を助けるための経済性分析	千住鎮雄	29名	中部

(2) ORセミナー

月26日, 27日日本アイ・ビー・エム㈱で開催した。参

「組織効率化のための新しいOR」を平成元年1

加者は29名であり, 強い関心と活発な質疑を呼んだ。

開催日	題 目 (あらまし)	講 師
1月26日	データ効率分析 (DEA) 法による組織戦略 組織体の効率性を比較するための新しい手法DEAについて解説するとともにケーススタディを通してその適用可能性と限界などを示す。また既存の手法との関係も論ずる。	刀根 薫 (埼玉大学)
1月27日	ソフトシステムズアプローチと組織効率化 ソフトシステム方法論の基本的考え方を中心にソフト化の動きを解説し, これが組織効率化の問題を扱う1つの方法となりうることを解説する	中野文平 (東京工業大学)
	最適在庫管理へのデジモンサポートシステム (DSS) 市場ニーズの多様化にともなう商品の多品種化に対して数万から数十万種類の商品在庫を管理する数学モデルとその解法, さらに社内での戦略的在庫管理DSS構築を述べる。	野村 淳二 (松下電工㈱)
	事例からみたデジモンサポートシステム構築の方向 DSSについては多彩な適用がなされているが, 最近ではエキスパートシステムが結びつき, エキスパートサポートシステム (ESS) とも呼ばれる。DSS/ESSの現況と今後の展望を述べる。	砂田 登士夫 (㈱富士通システム総研)

(3) OR企業サロン

「情報化と戦略的事業展開」をテーマとし, 梅沢豊 (東京大学経済部), 斎藤嘉博 (日立製作所) をコーディネータとして開催した。今日的な経営の重

要課題に関する話題を提供し, あわせて参加者相互の交流を深めることによって, 大きな成果を収めた (参加者延209人)。

開催年月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加人数
63.9.13	SIS (戦略的情報システム) —その虚像と実像— ○東京大学経済学部教授 土屋守章	SISの成功・失敗の諸事例から, SISの可能性と限界を探る。	36名
63.10.11	流通と情報戦略 ○ファルマ㈱ 顧問 松田康之	ファルマ創設以来の経験を踏まえ, 流通における情報システムはいかにあるべきかについて語る。	40名
63.11.1	花王の情報化はなにをめぐすか ○花王㈱ 副社長 渡辺正太郎	花王の先進的情報化戦略に関し, その思想, 展開過程, 将来構想等について語る。	45名
63.12.13	新日鉄のエキサイティングな挑戦 ○新日鉄㈱ 副社長 山根真樹生	新日鉄の情報通信産業分野への大規模, かつ本格的進出に関して, その事業哲学, 戦略, 参入方式等について紹介する。	46名

開催年月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加人数
1. 1. 17	2つのSIS ○日経コンピュータ副編集長 上村孝樹	戦略的情報システム(SIS)と、システム・インテグレーション・サービス(SIS)の有機的結合を重視する観点から、情報システムの戦略的活用の事例と考え方を説明する。	42名

5. 刊行物

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.33 No.3からVol.34 No.2まで12号(本文685ページ)を発行した。各号は特集を主とし、他にトップの視点、論文・事例研究、論文・研究レポート、連載、研究室だより、学生論文賞受賞論文要約、書評、研究部会報告等を掲載した。特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.33 No.3「組織知能」、同No.4「グラフィックOR」、同No.5「待ち行列のいま」、同No.6「複合エネルギー時代」、同No.7「ソフト・システムズ・アプローチ」、同No.8「多目的意思決定」、同No.9「水資源」、同No.10「ライフサイクル」、同No.11「コミュニケーション」、同No.12「地域開発の大型プロジェクト」、Vol.34 No.1「投資と金融のOR」、同No.2「情報ネットワーク」

- (2) 論文誌(Journal of the Operations Research Society of Japan) Vol.31 No.1からNo.4まで(579ページ)を発行した。本年度の投稿論文は85編(再投稿22編を含む)で、掲載論文は29編であった。

- (3) 研究発表会アブストラクト集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集を発行した。

6. 他学協会との連携・協力

- (1) 日本学術会議関連

日本学術会議第14期登録学術団体として、会員選出推薦人を、第3部経営学専門に4名(予備者1名)、第5部経営工学専門に1名(予備者1名)を各々選定し、同会議会員推薦人会議に派遣した。

日本学術会議経営工学研究連絡委員会(経営工学研連)の構成学会として、引き続き委員3名を、また新たに同会議経営学研連の構成学会としてオブザーバー(準委員)1名を派遣し、それらの活動に協力した。

7月15日に、経営工学研連並びにFMES(次項参照)の共催による第4回シンポジウムを日本学術会議講堂・会議室において開催し、146名の参加をみた。

- (2) 経営工学関連学会協議会(FMES)関連

前年度に引き続いて関連学会(日本経営工学会・日本品質管理学会)との協議会に代議員4名を派遣し、日本学術会議に関連する諸問題、文部省科学研究費補助金の経営工学分科新設問題、連合シンポジウムの開催等についての諸活動に参画協力した。

- (3) 日本工学会関連

工学系60学協会の連合体である日本工学会の活動に協力し、評議員1名を、また同会事務研究委員会に委員1名を派遣した。

7. 国際協力

- (1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) が発行する IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集発行に協力し、日本の文献抄録97編を送付するとともに、IAORのVol.36 No.1~3, Vol.37 No.1~3の国内頒布に協力した。また、EJOR (European Journal of Operational Research), および APJOR (Asia Pacific Journal of Operational Research) について、これらの編集、頒布に協力した。

- (2) 昭和63年8月24日~26日に韓国ソウルで開催された APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の第1回国際会議に協力した。

基調講演：近藤次郎、特別講演：松田武彦
一般発表：約300件

- (3) 昭和63年8月23日、24日の両日にわたって開かれた第4回APORS理事会に、APORS事務局長 若山邦紘、APORS日本代表 高森 寛、IFORS日本代表 伏見正則を派遣した。同会議で、1989、90年度の役員が下記のとおり改選された。

会長：徐 光輝(中国)

副会長：Teresa Ling(香港)

事務局長：若山邦紘(日本)

会計：ニュージーランドから

事務局：日本OR学会

なお、第2回APORS国際会議は1991年夏到北京で開催される予定である。

- (4) 昭和63年8月29日～9月2日に中央大学春日校舎で第13回数理計画法シンポジウムを開催した。参加国35カ国、参加者671名(内海外から379名)、特別講演他25件、招待・一般発表532件であった。
- (5) TIMS XXIX-OSAKA国際会議(1989年7月23日～26日)の準備に協力し、国際数学会議(1990年)準備のための各種委員会に委員を推薦した。

8. 他学協会との交流

他学協会の開催した下記の講演会等に協賛、後援した。

- 第14回システム・シンポジウム(計測自動制御学会)
- セミナー「コンピュータ近未来」(日本自動制御協会)
- 第11回「情報理論とその応用シンポジウム」(情報理論とその応用学会)
- 21世紀の生産環境国際会議(日本機械学会)
- セミナー「制御理論応用の最先端」(システム制御

情報学会)

- 講習会「ファジィ推論法—理論と実際」(計測自動制御学会)
- 第19回信頼性・安全性シンポジウム(財団法人科学技術連盟)
- 第2回シグナル・システム・コントロール(SSC)シンポジウム(システム制御情報学会)
- 第5回ファジィ・システム・シンポジウム(国際ファジィシステム学会日本支部)
- 第8回シミュレーション・テクノロジー・カンファレンス(日本シミュレーション学会)
- 第39回システム制御情報講習会(システム制御情報学会)
- 第32回自動制御連合講演会(計測自動制御学会)
- システム最適化に関するシンポジウム(土木学会)
- 講習会「生体システムに学ぶ—生体機能から自律分散へ」(計測自動制御学会関西支部)

9. 支部活動

各支部ごとに次のとおり活動した。

支 部 活 動 報 告

	北 海 道	東 北	中 部	関 西	中 国 四 国	九 州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 役員会 1回 幹事会 1回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 1回
研究会	研究会 1回	研究会 1回	研究会 6回 研究発表会 1回	研究会 29回		研究会 3回
講演会	講演会 4回	講演会 1回	講演会 2回	講演会 4回 記念講演会 1回	講演会 3回	講演会 1回 記念講演会 1回
出版			支部ニュース9回 研究発表会アブストラクト集 1回	支部 News Letter 5回 (No. 5-9)		支部ニュース 4回
その他			見学会 1回	見学会 1回	見学会 1回	見学会 1回

10. 表 彰

- (1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
第17回文献賞の選考を行なったが、該当者はなかった。
- (2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
第14回普及賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。
- 梅沢 豊(東京大学)
 - 斎藤嘉博(財日立製作所)
- (3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第13回実施賞の選考を行なったが、該当者はなかった。

- (4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞
第9回事例研究奨励賞の選考および第4回事例研究奨励賞ソフトウェア部門の選考を行ない、下記のとおり決定した。
- 第9回事例研究奨励賞
- 系統復旧問題の分枝限定法による解法と復旧操作に関する知識のOR的分析と評価

駒井研二, 坂口敏明 (三菱電機㈱)

- 鋼材出荷計画エキスパートシステムと分枝限定法

福村 聡, 佐能克明, 山川栄樹 (川崎製鉄㈱)

第4回事例研究奨励賞ソフトウェア部門

- ペトリネットモデル・シミュレーション・システム
椎塚久雄 (工学院大学)

- (5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第6回学生論文賞の選考を行ない, 下記のとおり

決定し, 授賞を行なった.

- 自動倉庫における在庫分布の推移

大谷 浩 (上智大学・学士論文)

- 直列型待ち行列モデルの近似解法

宋 宇 (東北大学・修士論文)

- The Stationary Ball Method for Linear Programming-A Primal Simplex Method with a New Column Selection Rule

竹原 均 (筑波大学・修士論文)

- A Continuation Method for Complementarity Problems

野間俊人 (東京工業大学・修士論文)

II 処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 定数: 12人から16人 任期: 2年 非常勤 現在: 16人

監事 定数: 2人 任期: 2年 非常勤 現在: 2人

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登記年月日		
理事(会長)	森村 英典	非常勤	63.4.28	63.6.21	会務の総理	東京工業大学教授理学部長
"(副会長)	竹内 啓	"	62.4.28	62.7.1	企画調整	東京大学教授
"(")	矢島 敬二	"	"	"	"	㈱日本科学技術研修所顧問
"(")	反町 洋一	"	63.4.28	63.6.21	"	㈱三菱総合研究所取締役
"(庶務)	森清 堯	"	62.4.28	62.7.1	庶務	㈱電力中央研究所企画部企画課長
"(")	腰塚 武志	"	63.4.28	63.6.21	"	筑波大学助教授
"(会計)	平本 巖	"	"	"	会計	㈱電力計算センター技術部長
"(研究普及)	西野 寿一	"	62.4.28	62.7.1	研究・普及	慶応義塾大学教授
"(")	忍田 和良	"	63.4.28	63.6.21	"	㈱日通総合研究所経済研究部長
"(編集)	山田 善靖	"	62.4.28	62.7.1	機関誌編集	東京理科大学教授
"(")	伏見 正則	"	63.4.28	63.6.21	論文誌編集	東京大学教授
"(国際)	若山 邦紘	"	62.4.28	62.7.1	国際	法政大学教授
"(無任所)	小和田 正	"	"	"	無任所	名古屋工業大学教授
"(")	権藤 元	"	63.4.28	63.6.21	"	近畿大学教授
"(")	真鍋龍太郎	"	"	"	"	文教大学教授
"(")	柳沢 滋	"	"	"	"	沖電気工業㈱生産センター長
監事	嶋田 正三	"	62.4.28	62.7.1	民法59条	法政大学教授
"	今野 衛司	"	63.4.28	63.6.21	"	日本アイ・ビー・エム㈱技術渉外部長

2. 職員に関する事項

区分	専任者		備考
	有給者		
	人数	左の人数の基本給(年度末月額)	
事務職員	3人	590,400(円)	
計	3人	590,400(円)	

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
63.4.28	1. 昭和62年度事業報告の件 2. 昭和62年度収支計算報告および監査報告の件 3. 昭和63年度事業計画の件 4. 昭和63年度予算の件 5. 昭和63年度・64年度役員選任の件 6. 昭和63年度・64年度評議員選任の件 7. 昭和62年度学会賞の発表と表彰の件 8. 新フェロー紹介の件	承認 " " " "

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
63. 5. 20	1. 昭和62年度評議員会議事録の件 2. 昭和62年度第7回理事会議事録の件 3. 昭和63年度通常総会議事録の件 4. 昭和63年度支部長会議開催報告・議事録の件 5. 第29回経営科学会 (TIMS) 国際会議開催の件 6. 昭和63年度委員会委員・幹事委嘱の件 7. 委員会等報告 (含、今年度の運営方針)	承認 " " 了承 " 承認 了承
63. 7. 7	1. 第1回理事会議事録の件 2. 第13回国際数理計画法シンポジウム特別会計取扱いの件 3. 委員会等からの報告 ・会員増強, 春季研究発表会及び第19回シンポジウム終了報告, OR企業サロン開催など 4. 名簿の発刊, 及び広告募集の件 5. 第1四半期収支計算の件 6. 昭和63年度表彰・編集 (論文誌) 委員等委嘱の件	承認 " 了承 承認 了承 承認
63. 9. 9	1. 第2回理事会議事録の件 2. 第6回学生論文賞候補推薦の件 3. 機関誌広告委員会設置の件 4. 委員会等からの報告 ・FMES シンポジウム終了報告, 定例講演会開催, ISMP・APORS 終了報告など 5. 昭和63年度上半期収支概算 6. 学術会議研連委員推薦の件 7. 秋季支部長会議開催の件	承認 " " 了承 " 承認 了承
63. 11. 11	1. 第3回理事会議事録の件 2. 委員会等からの報告 ・秋季支部長会議終了報告, 秋季研究発表会終了報告・収支決算, セミナー開催, AHP報告, APORS 事務局長人選など 3. 著作権 (複写権) の委任の件, 日本工学会会費値上げの件 4. 昭和64年度事業計画及び予算編成方針の件 5. 学術会議第3部・第5部研連の件 6. FMES 第5回シンポジウムの件	承認 了承 承認 " 了承 " 承認
1. 1. 19	1. 第4回理事会議事録の件 2. 委員会等からの報告 ・賛助会員増強活動, OR企業サロン終了報告・平成元年度実施計画など 3. 財政問題検討委員会第2次報告 4. 第3四半期収支計算報告の件 5. 第13回国際数理計画法シンポジウム関連特別会計取扱の件 6. 研究部会新設ならびに継続の件 7. 平成元年度秋季研究発表会の件 8. 平成元年度事業計画案ならびに予算案の件	承認 了承 " " 承認 " 了承 " 承認
1. 3. 16	1. 第5回理事会議事録の件 2. 委員会等からの報告 ・会員増強活動継続, 昭和63年度セミナー・シンポジウム終了報告, 平成元年度シンポジウム・春季・秋季研究発表会経過報告, 昭和63年度研究部会・グループ終了/経過報告, 学術会議・FMES 関係報告	承認 了承

開催年月日	議 事 事 項	結 果
1. 3. 16	3. 消費税導入に対する対応 4. 研究普及委員会規定改正の件 5. 第13回国際数理計画法シンポジウム特別会計報告 6. 名誉会員推薦の件 7. 昭和63年度フェロー推薦の件 8. 昭和63年度学会賞授賞候補推薦の件 9. 昭和63年度事業報告(案)及び収支見込の件 10. 平成元年度役員候補者の件 11. 平成元年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件	承認 " 了承認 承認 " " " " "
1. 4. 13	1. 第6回理事会議事録の件 2. 昭和63年度事業報告の件 3. 昭和63年度収支計算報告および監査報告の件 4. 平成元年度事業計画の件 5. 平成元年度収支予算の件 6. 平成元年度・2年度役員候補者選任の件 7. 委員会等からの報告	承認 " " " " " 了承

(3) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
1. 4. 13	1. 昭和63年度事業報告の件 2. 昭和63年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成元年度事業計画の件 4. 平成元年度収支予算の件 5. 平成元年度・2年度役員候補者選任の件 6. 名誉会員推薦の件	了承 " " " " "

(4) 支部長会議

支部長会議は4月(中部)と10月(東京)の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を行なった。

広告委員会	4回
庶務幹事会	7回
企業サロン企画委員会	5回
財政問題検討委員会	4回
会計幹事会	3回

(5) 委員会・幹事会

・常設委員会

OR誌編集委員会	12回
研究普及委員会	7回
IAOR委員会	3回
JORSJ編集委員会	2回
国際委員会	2回
表彰委員会	5回

・その他の委員会・幹事会

フェロー会議	1回
研究部会主査会議	1回
会員増強委員会	6回
OA化準備委員会	1回

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
国際会議開催	35社	8,087,200円	8,087,200円	

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 会員状況

(1) 入退会内訳

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員		合計	
				A種	B種		
昭和63年2月末日	8	2,275	150	120(146)	5(5)	2,558	
昭和63年度	入会		144	83	8(8)	8(8)	243
	移行	正→学	△2	2			0
		学→正	50	△50			0
	退会	△2	△76	△6	△4(4)		△88
	除名		△30	△8			△38
	復活		4				4
	増口				(2)		(2)
純増減	△2	90	21	4(6)	8(8)	121	
平成元年2月末日	6	2,365	171	124(152)	13(13)	2,679	

(2) 地域別内訳

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	
				A種	B種
本部	5	1,439	115	84(110)	9(9)
北海道		64	2	3(3)	1(1)
東北		68	3	6(7)	
中部	1	204	6	8(8)	
関西		336	35	12(12)	
中国・四国		123	5	5(6)	
九州		131	5	6(6)	3(3)
合計	6	2,365	171	124(152)	13(13)

(第5号議案)

平成元年度・平成2年度 役員候補者並びに継続役員名簿

会務役職	定数	候補者	非改選役員	研究普及 編集 会計 無任所 " " " "		小島政和 高森寛 若林信夫 鈴木誠道	忍田和良 伏見正則 平本巖 権藤元 真鍋龍太郎 柳沢滋 今野衛司
会長	1(0)	小田部 齊 長谷川 利治 安達 弘之 柳井 浩	森村 英典	2(1)			
副会長	3(2)		反町 洋一	2(1)			
"	2(1)		"	1(0)			
庶務	1(1)		腰塚 武志	4(1)			
国際	1(1)			"			
			腰塚 武志	"			
				監事	2(1)		

() 内は平成元年度改選数

昭和63年度収支計算書

収支計算書総括表

(昭和63年3月1日から平成元年2月28日まで)

(単位:円)

1) 収入の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			国際数理計画シンポ	経営科学国際会議
基本財産運用収入	169,964	169,964	0	0
入会金収入	222,600	222,600	0	0
会費収入	45,454,800	45,454,800	0	0
事業収入	15,504,320	14,526,662	977,520	0
補助金収入等	4,000,000	0	4,000,000	0
参加費収入	22,075,935	0	22,075,935	0
寄付金収入	8,087,200	0	8,087,200	0
雑収入	11,041,663	10,592,898	448,765	0
当期収入合計	106,556,344	70,966,924	35,589,420	0
前期繰越収支差額	25,861,890	14,483,633	11,378,257	0
収入合計	132,418,234	85,450,557	46,967,677	0
2) 支出の部				
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			国際数理計画シンポ	経営科学国際会議
管理費	28,302,823	25,680,173	2,622,650	0
事業費	81,790,784	44,718,219	37,072,565	0
当期支出合計	110,093,607	70,398,392	39,695,215	0
当期収支差額	△ 3,537,263	568,532	△ 4,105,795	0
次期繰越収支差額	22,324,627	15,052,165	7,272,462	0
支出合計	132,418,234	85,450,557	46,967,677	0

収支計算書

(昭和63年3月1日から平成元年2月28日まで)

1. 一般会計

(単位:円)

1) 収入の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入 入会金収入	基本財産利息収入		170,000	169,964	△ 36	
		正会員入会金収入	180,000	172,800	△ 7,200	
		学生会員入会金収入	39,000	49,800	10,800	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
会費収入						
	正 会 員 会 費 収 入		28,242,000	28,650,800	408,800	
	学 生 会 員 会 費 収 入		990,000	1,075,000	85,000	
	賛 助 会 員 会 費 収 入		15,635,000	15,729,000	94,000	
事業収入						
	会 誌 頒 布 収 入		9,600,000	8,805,762	△ 794,238	
	研 究 発 表 会 収 入		3,410,000	3,735,000	325,000	
	講 演 会 収 入		448,000	357,500	△ 90,500	
	講 習 会 収 入		1,020,000	636,000	△ 384,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		200,000	272,000	72,000	
	I A O R 収 入		465,000	442,000	△ 23,000	
	E J O R 収 入		269,000	248,400	△ 20,600	
	A P J O R 収 入		25,000	30,000	△ 5,000	
雑収入						
	名 簿 収 入		0	1,329,500	1,329,500	
	広 告 収 入		4,060,000	4,392,800	332,800	
	受 取 利 息		1,214,000	1,108,533	△ 105,467	
	雑 収 入		400,000	540,065	140,065	
	国際協力引当金取崩収入		500,000	0	△ 500,000	
	OA化引当金取崩収入		300,000	300,000	0	
	名簿作成引当金取崩収入		500,000	500,000	0	
	別途引当金取崩収入		2,900,000	0	△ 2,900,000	
	数理計画シンポジウム繰戻収入		0	2,422,000	2,422,000	
当 期 収 入 合 計			70,567,000	70,966,924	399,924	
前期繰越収支差額			14,483,633	14,483,633	0	
収 入 合 計			85,050,633	85,450,557	399,924	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管理費						
	家 賃		2,780,000	2,808,100	△ 28,100	
	共 益 費		1,146,000	1,146,000	0	
	事 務 用 品 費		0	594,300	△ 594,300	
	会 議 費		800,000	692,345	107,655	
	旅 費 交 通 費		1,350,000	1,347,040	2,960	
	通 信 費		1,300,000	1,076,229	223,771	
	印 刷 費		400,000	167,980	232,020	
	名 簿 作 成 費		500,000	1,449,200	△ 949,200	
	消 耗 品 費		750,000	551,062	198,938	
	O A 化 準 備 費		500,000	300,000	200,000	
	修 繕 費		20,000	19,800	200	
	給 料 手 当		9,808,000	9,884,785	△ 76,785	
	福 利 厚 生 費		1,550,000	1,337,281	212,719	
	臨 時 雇 賃 金		700,000	770,720	△ 70,720	
	保 険 料		79,000	79,200	△ 200	
	負 担 金		55,000	31,500	23,500	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 費	支 払 手 数 料		100,000	89,276	10,724	
	租 税 公 課		60,000	52,760	7,240	
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入		200,000	400,000	△ 200,000	
	敷 金 引 当 金 繰 入		0	200,000	△ 200,000	
	O A 化 引 当 金 繰 入		0	500,000	△ 500,000	
	別 途 引 当 金 繰 入		0	400,000	△ 400,000	
	雑 損 費 金		150,000	476,595	△ 326,595	
			1,500,000	1,306,000	194,000	
	研 究 発 表 会					
		開 催 費	2,047,000	2,163,351	△ 116,351	
		印 刷 費	1,220,000	903,748	316,252	
	印 刷 製 本 費					
		機 関 誌	14,400,000	12,486,520	1,913,480	
		論 文 誌	2,600,000	3,098,395	△ 498,395	
		報 文 集	200,000	0	200,000	
		印 刷 費	150,000	68,160	81,840	
	国 際 協 力 費					
		I F O R S 会 費	250,000	496,370	△ 246,370	
		I A O R 購 入 費	323,000	292,628	30,372	
		E J O R 購 入 費	260,000	319,383	△ 59,383	
		A P J O R 購 入 費	25,000	23,299	1,701	
		A P O R S 関 係 費	532,000	118,910	413,090	
	研 究 活 動 費					
		講 演 会 開 催 費	601,000	373,608	227,392	
		講 習 会 開 催 費	630,000	226,300	403,700	
		O R 企 業 サ ロ ン	500,000	816,518	△ 316,518	
		研 究 部 会 費	750,000	750,000	0	
	支 部 費	2,443,000	2,452,600	△ 9,600		
表 彰 事 業 費		300,000	751,512	△ 451,512		
表 会 議 費		648,000	423,090	224,910		
旅 費 交 通 費		992,000	565,900	426,100		
通 信 運 搬 費		3,780,000	4,113,188	△ 333,188		
諸 謝 金		1,435,000	1,311,260	123,740		
給 料 手 当		9,808,000	9,884,784	△ 76,784		
編 集 校 正 費		1,720,000	1,716,000	4,000		
消 耗 品 費		805,000	1,053,172	△ 248,172		
F M E S 関 係 費		150,000	57,343	92,657		
記 念 事 業 引 当 金 繰 入		150,000	150,000	0		
雑 費		100,000	102,180	△ 2,180		
予 備 費						
当 期 支 出 合 計			70,567,000	70,398,392	168,608	
当 期 収 支 差 額			0	568,532	△ 568,532	
次 期 繰 越 収 支 差 額			14,483,633	15,052,165	△ 568,532	
支 出 合 計			85,050,633	85,450,557	△ 399,924	

2. 特別会計

(1) 第13回国際数理論計画法シンポジウム

1) 収入の部

勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
事業収入	参加費収入		24,000,000	22,075,935	△1,924,065	
	資料等頒布収入		0	407,520	407,520	
	展示収入		500,000	570,000	70,000	
補助金収入等	助成金収入		0	4,000,000	4,000,000	
寄付金収入	寄付金収入		5,450,000	8,087,200	2,637,200	
雑収入	広告収入		0	0	0	
	受取利息収入		497,250	355,574	△141,676	
	雑収入		0	93,191	93,191	
当期収入合計			30,447,250	35,589,420	5,142,170	
前期繰越差額			11,378,257	11,378,257	0	
収入合計			41,825,507	46,967,677	5,142,170	

2) 支出の部

勘定科目			予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目	小科目				
管理費	支払手数料		0	194,250	△194,250	
	租税公課		0	6,400	△6,400	
	一般会計別途引当金繰入		0	2,422,000	△2,422,000	
事業費	賃借料		6,040,000	633,840	5,406,160	
	会議費		5,649,004	7,060,881	△1,411,877	
	旅費交通費		7,610,920	7,708,708	△97,788	
	通信運搬費		2,595,170	1,432,432	1,162,738	
	印刷費		7,046,100	5,294,500	1,751,600	
	消耗品費		2,902,210	4,059,647	△1,157,437	
	事務委託費		4,240,000	3,066,500	1,173,500	
	給与手当		930,000	0	930,000	
	臨時雇賃金		3,917,000	5,549,750	△1,632,750	
	謝礼金		0	1,260,000	△1,260,000	
	雑費		167,650	275,757	△108,107	
	損金		0	449,000	△449,000	
	キャンセル者返金		0	281,550	△281,550	
当期支出合計			41,098,054	39,695,215	1,402,839	
当期収支差額			△10,650,804	△4,105,795	△6,545,009	
次期繰越収支差額 (数理論計画法研究会特別会計積立金)			727,453	7,272,462 (7,272,462)	△6,545,009	
支出合計			41,825,507	46,967,677	△5,142,170	

(2) 第29回経営科学会国際会議

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
寄付金収入	寄 付 金 収 入		4,590,000	0	△4,590,000	
収 入 合 計			4,590,000	0	△4,590,000	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事業費	旅 費 交 通 費		180,000	0	180,000	
	印 刷 費		210,000	0	210,000	
	事 務 消 耗 品 費		500,000	0	500,000	
			890,000	0	890,000	
次期繰越収 支差額			3,700,000	0	3,700,000	
支 出 合 計			4,590,000	0	4,590,000	

貸借対照表総括表

平成元年2月28日

(単位:円)

1) 資産の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 研 究 会	I F O R S 会 議
流 動 資 産 合 計	71,476,170	63,741,212	7,272,462	462,496
固 定 資 産 合 計	0	0	0	0
資 産 合 計	71,476,170	63,741,212	7,272,462	462,496

2) 負債の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 研 究 会	I F O R S 会 議
流 動 負 債 合 計	30,058,327	30,058,327	0	0
固 定 負 債 合 計	21,365,678	13,630,720	7,272,462	462,496
負 債 合 計	51,424,005	43,689,047	7,272,462	462,496

3) 正味財産の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数 理 計 画 法 研 究 会	I F O R S 会 議
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0	0
剰 余 金	15,052,165	15,052,165	0	0
正 味 財 産 合 計	20,052,165	20,052,165	0	0
負債及び正味財産合計	71,476,170	63,741,212	7,272,462	462,496

貸借対照表

平成元年2月28日

1. 一般会計

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産			
	現金預金	53,229,137	
	有価証券	8,000,000	
	未収金	2,068,660	
	前払金	443,415	
流動資産合計			63,741,212
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			63,741,212

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債			
	預り金	318,411	
	未払金	23,500	
	前受金	29,716,416	
流動負債合計			30,058,327
固定負債			
	退職給与引当金	802,508	
	敷金引当金	2,021,640	
	国際協力引当金	3,817,106	
	記念事業引当金	700,000	
	表彰事業引当金	1,160,000	
	OA化引当金	700,000	
	別途引当金	4,429,466	
固定負債合計			13,630,720
負債合計			43,689,047

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金			
	基本金		5,000,000
剰余金			
	次期繰越収支差額 (うち当期増減額)	15,052,165 (568,532)	
剰余金合計			15,052,165
正味財産合計			20,052,165
負債及び正味財産合計			63,741,212

2. 特別会計(数理計画法研究会)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産			
	現金預金		3,272,462
	未収金		4,000,000
流動資産合計			7,272,462
有形固定資産			0
有形固定資産合計			0
資産合計			7,272,462

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債			0
流動負債合計			0
固定負債			
	数理計画法研究会 特別会計積立金		7,272,462
固定負債合計			7,272,462
負債合計			7,272,462

3. 特別会計(IFORS会議)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産			
	現金預金		462,496
流動資産合計			462,496
資産合計			462,496

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
固負債定			
	IFORS特別 会計積立金		462,496
固定負債合計			462,496
負債合計			462,496

財産目録

平成元年2月28日

1. 一般会計

		金額	
(資産の部)			
I	流動資産		

1. 現金預金			
(1) 現金			
現金手許有高	174,155		
(2) 振替貯金			
東京振替貯金局	4,475,756		
(3) 当座預金			
第一勸業銀行八重洲口支店	200,224		
住友銀行白山支店	7,081		
(4) 普通預金			
第一勸業銀行八重洲口支店	6,549,592		
住友銀行白山支店	1,859,056		
三菱銀行千駄木支店	1,813,273		
(5) 定期預金			
第一勸業銀行八重洲口支店	19,000,000		
住友銀行白山支店	11,150,000		
三菱銀行千駄木支店	8,000,000		
2. 有価証券(利付債券)			
日本長期信用銀行本店	8,000,000		
3. 未収金			
63年度会費他	2,068,660		
4. 前払金			
平成元年度研究発表会開催費他	434,415	63,741,212	
II 有形固定資産	0	0	
資産合計		63,741,212	

	金額	
(負債の部)		
I 流動負債		
1. 預り金		
職員に対する源泉所得税他	318,411	
2. 未払金		
抜刷代他	23,500	
3. 前受金		
平成元年度会費前受他	29,716,416	30,058,327
II 固定負債		
1. 退職給与引当金	802,508	
2. 敷金引当金	2,021,640	
3. 国際協力引当金	3,817,106	
4. 記念事業引当金	700,000	
5. 表彰事業引当金	1,160,000	
6. OA化引当金	700,000	
7. 別途引当金	4,429,466	13,630,720
負債合計		43,689,047
正味財産		20,052,165

注：基本財産たる資産
定期預金（第一勸業銀行八重洲口支店） 5,000,000

2. 特別会計（数理計画法研究会）

	金額	
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	0	
(2) 普通預金		
第一勸業銀行大岡山支店	3,219,366	
住友銀行白山支店	53,096	
2. 未収金		
万国博覧記念協会	4,000,000	7,272,462
II 有形固定資産	0	0
資産合計		7,272,462
(負債の部)		
I 流動負債	0	0
II 固定負債		
数理計画法研究会特別会計積立金	7,272,462	7,272,462
負債合計	7,272,462	7,272,462

3. 特別会計（IFORS会議）

	金額	
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 定期預金		
三菱銀行千駄木支店	462,496	462,496
II 有形固定資産	0	0
資産合計		462,496
(負債の部)		
I 流動負債	0	0
II 固定負債		
IFORS 特別会計積立金	462,496	462,496
資産合計	462,496	462,496

平成元年度事業計画 (第3号議案)

創立30周年長期計画の主要な活動の方針である。

(1) 「ORの実学への回帰」の実践

(2) 「ORは役に立つ」ことの周知への努力

をふまえ、平成元年度事業計画はとくに学会内の分野交流の促進、他学協会との連携の強化を図ることなど、ORの普及や実践の活動を従来以上に推進することを基本

とする。

平成元年度における計画の概要は次のとおりである。

1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

(1) 春季研究発表会

期 日：5月11日, 12日(見学会は13日)

場 所：松山大学

(2) 秋季研究発表会

期 日：10月18日, 19日(見学会は20日)

場 所：東京理科大学(野田キャンパス)

2. シンポジウム

シンポジウムを2回開催する。

(1) 第21回シンポジウム

期 日：5月10日

場 所：松山大学

テーマ：ORは意思決定に役立っているか。

(2) 第22回シンポジウム(数理計画シンポジウム'89)

期 日：10月17日

場 所：(未定)

テーマ：数理計画の最近の進歩と知的所有権

3. 研究部会・研究グループ活動

(1) 研究部会

次の15研究部会を設置する。

ア. 常設(3研究部会)

「待ち行列」 主査：牧野 都治(東京理科大学)

「数理計画」 主査：古林 隆(法政大学)

「OR/MSとシステムマネジメント」

主査：太田敏澄(豊橋技術科学大学)

イ. 継続(10研究部会)

「投資と金融のOR」 主査：今野浩(東京工業大学)

「確率モデルとその周辺」

主査：大野勝久(名古屋工業大学)

「政策問題」 主査：萩野正浩(㈱電脳総合サービス)

「対話型OR」 主査：榎藤 元(近畿大学)

「交通・流通システム」

主査：忍田和良(㈱日通総合研究所)

「最適化とその周辺」 主査：茨木俊秀(京都大学)

「意思決定」 主査：真鍋龍太郎(文教大学)

「システム・シミュレーション」

主査：森戸 晋(早稲田大学)

「システム・ダイナミックス」

主査：亀山三郎(中央大学)

「情報ネットワーク」

主査：勅使河原 可海(日本電気㈱)

ウ. 新設(2研究部会)

「数理モデルとその周辺」

主査：児玉正憲(九州大学)

「CIM・FMSの管理技術」

主査：黒田 充(青山学院大学)

(2) 研究グループ

次の3研究グループを設置する。

ア. 継続(2研究グループ)

「社会分析」 主査：小島光造(㈱佐々木彬夫事務所)

「経営・管理システム」

主査：上田亀之助(㈱上田イノベーション研究所)

イ. 新設(1研究グループ)

「動的計画法」

主査：小田中敏男(東京都立科学技術大学)

(3) 特設部会

次の特設部会を新設する。

「数理計画法研究会」 主査：今野浩(東京工業大学)

4. 普及活動, 会員増強活動

(1) 講演会, 講習会の開催

(2) OR企業サロンの開催(6回)

(3) 会員増強活動の推進

(4) その他学会活動の広報

5. 刊行物

次の刊行物を発行する。

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」(12号)

(2) 論文誌「Journal of the Operations Research Society of Japan」(4号)

(3) 研究発表会アブストラクト集(2回)

(4) シンポジウム予稿集(2回)

6. 他学協会との連携・協力

(1) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会に委員を, また同会議経営学研究連絡委員会にオブザーバー(準委員)を派遣し, これらの活動に協力する。

(2) 経営工学関連学会協議会(FMES)に代議員を派遣し, その活動に参画する。

(3) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会並びに(㈱)日本オペレーションズ・リサーチ学会, (㈱)日本品質管理学会, (㈱)日本経営工学会が共催する第5回シンポジウムに参画し協力する。

期 日：7月14日(金)

場 所：日本学術会議講堂

テーマ：企業のリストラクチャリングと経営工学の課題

(4) (㈱)日本工学会, その他関連学協会との交流を積極

的に進める。

7. 国際協力・交流

- (1) **IFORS** (International Federation of Operational Research Societies) を通じて、各国のOR学会との交流、協力を図る。
- (2) 本学会共催の **TIMS XXIX-OSAKA** 国際会議 (1989年7月23日～26日) の開催に協力するとともに、第21回国際数学会議 (1990年) の日本開催の準備に協力する。
- (3) 本学会は**APORS** (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局としてアジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会間の情報交換に協力する。なお、第5回**APORS**理事会を**TIMS**国際会議の開催期間中に大阪で開催しこれに協力する。
- (4) **IAOR** (International Abstracts in Operations Research) の編集発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、**IAOR**の国内頒布に協力

する。また、**EJOR** (European Journal of Operational Research) および **APJOR** (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集発行および国内頒布に協力する。

- (5) **ギリシャ・アテネ**で開催される**第12回IFORS国際会議** (1990年6月25日～29日) への参加視察団派遣の準備を行なう。

8. 支部活動

各支部において、研究会、講演会、見学会等を企画し、実施する。

9. 表彰

文献賞、実施賞、普及賞、事例研究奨励賞 (ソフトウェア部門賞を含む) および学生論文賞の選考・表彰を行なう。

10. その他

財政基盤の安定化に努めるとともに、事務局の強化に配慮する。

(第4号議案)

平成元年度収支予算書

収支予算書総括表

(平成元年3月1日から平成2年2月28日まで)

(単位:円)

1) 収入の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			経営科学会国際会議
基本財産運用収入	160,000	160,000	0
入会金収入	202,200	202,200	0
会費収入	45,836,400	45,836,400	0
事業収入	32,040,000	16,540,000	15,500,000
寄付金収入	20,500,000	0	20,500,000
雑収入	10,116,400	10,066,400	50,000
当期収入合計	108,855,000	72,805,000	36,050,000
前期繰越収支差額	15,052,165	15,052,165	0
収入合計	123,907,165	87,857,165	36,050,000
2. 支出の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			経営科学会国際会議
管理費	23,818,000	23,818,000	0
事業費	85,037,000	48,987,000	36,050,000

当期支出合計	108,855,000	72,805,000	36,050,000
当期収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	15,052,165	15,052,165	0
支出合計	123,907,165	87,857,165	36,050,000

収支予算書

(平成元年3月1日から平成2年2月28日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部

勘定科目			予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		160,000	170,000	△ 10,000	
入会金収入	正会員入会金収入		158,400	180,000	△ 21,600	
	学生会員入会金収入		43,800	39,000	4,800	
会費収入	正会員会費収入		27,798,400	28,242,000	△ 443,600	
	学生会員会費収入		1,165,000	990,000	175,000	
	賛助会員会費収入		16,873,000	15,635,000	1,238,000	
事業収入	会誌頒布収入		9,300,000	9,600,000	△ 300,000	
	研究発表会収入		3,380,000	3,410,000	△ 30,000	
	講演会収入		420,000	448,000	△ 28,000	
	講習会収入		600,000	1,020,000	△ 420,000	
	資料等頒布収入		250,000	200,000	50,000	
	I A O R 収入		450,000	465,000	△ 15,000	
	E J O R 収入		360,000	269,000	91,000	
	A P J O R 収入		80,000	25,000	55,000	
	受託研究収入		1,700,000	0	1,700,000	
雑収入	広告収入		4,700,000	4,060,000	640,000	
	受取利息		1,100,000	1,214,000	△ 114,000	
	名簿収入		200,000	0	200,000	
	雑収入		400,000	400,000	0	
	敷金引当金取崩収入		1,200,000	0	1,200,000	
	国際協力引当金取崩収入		900,000	500,000	400,000	
	O A 化引当金取崩収入		700,000	300,000	400,000	
	名簿作成引当金取崩収入		0	500,000	△ 500,000	
	別途引当金取崩収入		866,400	2,900,000	△ 2,033,600	
当期収入合計			72,805,000	70,567,000	2,238,000	
前期繰越収支差額			15,052,165	14,483,633	568,532	
収入合計			87,857,165	85,050,633	2,806,532	

勘 定 科 目				予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目		小 科 目				
予 備 費	旅 費	交 通 費		969,000	992,000	23,000	
	通 信	運 搬 費		4,700,000	3,780,000	△ 920,000	
	諸 謝 金			1,530,000	1,435,000	△ 95,000	
	給 料 手 当			7,670,000	9,808,000	2,138,000	
	編 集 校 正 費			1,848,000	1,720,000	△ 128,000	
	消 耗 品 費			870,000	805,000	△ 65,000	
	受 託 研 究 費			1,700,000	0	△ 1,700,000	
	F M E S ・ 研 連 関 係 費			170,000	150,000	△ 20,000	
	記 念 事 業 引 当 金 繰 入			0	150,000	150,000	
	雑 費			100,000	100,000	0	
当 期 支 出 合 計				72,805,000	70,567,000	△ 2,238,000	
当 期 収 支 差 額				0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額				15,052,165	14,483,633	△ 568,532	
支 出 合 計				87,857,165	85,050,633	△ 2,806,532	

2. 特別会計

第29回経営科学会国際会議

勘 定 科 目				予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
大 科 目	中 科 目		小 科 目					
1) 収入の部								
参 加 費 バンケット 会費 寄付金収入 雑 収 入				14,000,000	0	14,000,000	28,000	
				1,500,000	0	1,500,000	5,000	
				20,500,000	4,590,000	15,910,000	300名	
				50,000	0	50,000		
収 入 合 計				36,050,000	4,590,000	31,460,000		
2) 支出の部								
大 科 目	中 科 目		小 科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
事 業 費	印 刷 費			2,940,000	210,000	2,730,000		
	会 議 費			6,874,000	0	6,874,000		
	旅 費	交 通 費		1,700,000	180,000	1,520,000		
	通 信	運 搬 費		1,050,000	0	1,050,000		
	事 務 委 託 費			3,500,000	500,000	3,000,000		
	消 耗 品 費			1,512,000	0	1,512,000		
	借 料 及 損 料			15,610,000	0	15,610,000		
	登 録 経 費			1,274,000	0	1,274,000		
	公 認 会 計 士 監 査 料			560,000	0	560,000		
	人 件 費			980,000	0	980,000		
	雑 費			50,000	0	50,000		
	当 期 支 出 合 計				36,050,000	890,000	35,160,000	
	次 期 繰 越 収 支 差 額				0	3,700,000	△ 3,700,000	
支 出 合 計				36,050,000	4,590,000	31,460,000		